

プロとしての知識と品格を身につけよう！

旅行業務取扱管理者講座

〈標準：国内・総合W受験／国内〉〈速習：国内・総合W受験／国内〉〈総合〉

マナー・プロトコール検定講座

国家資格

試験概要	
受験資格	全国合格率
制限なし	【旅行業務取扱管理者】[マナー・プロトコール検定] (国内) 36.5% (総合) 22.3% (2023年度)
	58.0% (2024年9月試験)

資格取得のサポートも充実！

資格取得者支援制度

〔旅行業務取扱管理者〕受講直後の本試験(総合)合格で**11,000～24,000円**を給付！

〔マナー・プロトコール検定〕受講直後の本試験(2級)合格で**10,000円**を給付！

募集要項

- 申込期間は延長する場合がありますので、資格講座ホームページ・KVCを随時確認してください。
- 受験料については各試験実施団体にお問い合わせください。

資格講座ホームページ
申込・講義日程はこちら▶
講義日程を必ずご確認ください



講座名	コース名(回数)	開講時期	受講形態	申込期間(期限日の15:00受付締切)	開講期間	料金※教材費含む	試験日※予定
旅行業務取扱管理者	国内・総合W受験(41回)	5月	ハイブリッド	3/10(月)～4/30(水)	5/7(水)～10月上旬	新規 80,000円 リトライ 32,300円	〈国内〉9月 ※CBT試験
	国内(25回)				5/7(水)～8月中旬	新規 52,500円 リトライ 20,500円	
	国内・総合W受験(41回)	6月	ハイブリッド	5/21(水)～5/29(木)	6/2(月)～10月上旬	新規 80,000円 リトライ 32,300円	〈総合〉10月 ※CBT試験
	国内(25回)				6/2(月)～8月中旬	新規 52,500円 リトライ 20,500円	
マナー・プロトコール検定	総合(22回)	11月	Web※2	3/10(月)～5/29(木)	6/2(月)～10月上旬	新規 46,800円 リトライ 19,100円	12月中旬～下旬
	2級(8回)					新規 30,700円	

申込方法はP.42へ

※1.一部講義はWebオンデマンドでの受講となります。詳細は講義日程をご確認ください。 ※2. Zoomを使用しての講義となります。

学習スケジュール(開講期間)	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月
※旅行管理者(総合コース)の受講は国内合格者に限ります。			旅行管理者 標準(国内・総合W)									
			旅行管理者 標準(国内)									
			旅行管理者 速習(国内・総合W)・総合									
			旅行管理者 速習(国内)									
								マナー・プロトコール				

旅行・観光業界の就職人気が完全回復！

【2025年卒 文系学生就職企業人気ランキング】

順位	企業名	順位	企業名
1	ニトリ	11	ソニーグループ
2	みずほフィナンシャルグループ	12	ソニーミュージックグループ
3	伊藤忠商事	13	ファーストリテイリング(ユニクロ・ジーユー・プラステセオリー)
4	三菱UFJ銀行	14	明治安田生命保険
5	味の素	15	KDDI
6	東京海上日動火災保険	16	全日本空輸(ANA)
7	日本航空(JAL)	17	Plan・Do・See
8	セガ	18	アイリスオーヤマ
9	JTBグループ	19	Sky
10	バンダイ	20	日本生命保険

(参考資料) マイナビ・日経「2025年卒大学生就職企業人気ランキング」

2025年卒の大学生が答えた就職企業人気ランキングにおいて旅行・観光業界の人気回復が見られ、20位までに多くの企業がランクインしています。
また、航空需要の高まりから日本航空(JAL)が前年13位から7位、全日本空輸(ANA)が前年26位から16位と大きく順位を上げています。

就職先人気・需要が完全に回復した今、「業界唯一の国家資格」の取得や、「国際的なマナーの証明」を身につけることは、他の志望者と差をつける大きな武器となります。



〔旅行業務取扱管理者〕
標準コースと速習コースの違いは？

標準コース

基本は【標準コース】で受講しましょう！無理なく合格に必要な知識を身につけることができます。

速習コース

速習コースは講義回数、受講スタイルともに標準コースと同じですが、ライブ講義とは別途、夏期休暇などの期間を有効利用しオンデマンド受講を併用するコースです。標準コースに比べ、全体の学習期間が短くなるため計画的な学習が必要です。

旅行業務取扱管理者とは

旅行業務取扱管理者は、旅行者のニーズに合った旅行を提供するために、ツアーのプランニングから販売、添乗までをトータルプロデュースする旅行業界唯一の国家資格です。「国内旅行業務取扱管理者」は国内旅行のみの取り扱いである一方、「総合旅行業務取扱管理者」は国内・海外旅行の両方を取り扱うことができます。旅行会社では営業所ごとに1名以上の旅行業務取扱管理者の設置が義務付けられているため、業界内で需要の高い資格とされており、また鉄道・航空業界やブライダル・ホテル業界など、その他さまざまな業界においても活躍が期待できます。

旅行業務取扱管理者資格が役立つ業界は多岐に渡ります

旅行業界

店頭営業や法人営業における旅行プランニング、カタログ制作における旅先の魅力紹介などで知識を発揮できます。

鉄道・バス業界

実務で必要となる観光地理や運賃・料金計算などは、旅行業務取扱管理者の学習で習得できます。

航空業界

客室乗務員や旅客のチェックインなどをおこなうグランドスタッフなど、旅行と密接にかかわる業界です。

ブライダル業界

近年、「挙式」と「新婚旅行」をセットで取り扱う企業が増えており、旅行業務取扱管理者が活躍できます。

ホテル業界

ホテル周辺の観光スポットや交通機関などに幅広く精通した一流のコンシェルジュをめざします。

学習した知識を活かして行政でも活躍！

観光は、国や地方公共団体において大きな役割を担う分野です。観光庁や市の観光課などに配属された場合、国家資格の取得者として知識を活かすことができます。

旅行業務取扱管理者を取得するメリット

メリット1

旅行・観光に関わる幅広い業界で活躍できる

メリット2

仕事だけでなく自身の留学や旅行においても役立つ

メリット3

公務員として市の観光課などで活かせる知識を習得できる

マナー・プロトコール検定とは

マナー・プロトコール検定は、社会人として必要とされるマナーや国際儀礼(プロトコール)について、その知識や対応力を認定する資格です。その範囲はビジネスマナーに加え、テーブルマナー、冠婚葬祭、さらに国際人として必要とされる国旗の扱い・席次などの儀礼に至るまで幅広く、大手航空各社やホテルなどでも取得が推奨されています。グローバル化が加速する現代において、国内外問わず通用する知識とスキルを身につけましょう。

【推奨企業(一部抜粋)】



ビジネスマナー

テーブルマナー

冠婚葬祭のしきたり

海外文化・日本文化の知識

服装のマナー

国際人として必要とされるマナー

マナー・プロトコール検定は多くの企業から注目されています。

就職人気の高い「商社」や「旅行・観光」関連企業だけでなく、国内の企業においてもグローバル化が急速に進んでいるため、「国際的なマナー・儀礼」は、学部を問わず身につけておきたい知識です。

マナー・プロトコール検定を取得するメリット

メリット1

国内外問わず通用するマナーや国際儀礼が理解できる

メリット2

接客業に限らず、一般企業などでも役立つビジネスマナーを習得できる

メリット3

マナーに対する関心がより高いことを就職活動でアピールできる

さらにスキルアップ

旅行・観光業界において強みとなる資格を効率的に取得

旅行業務取扱管理者

マナー・プロトコール検定

貿易実務検定®(P.33参照)

就職人気の高い「商社」や「旅行・観光」関連企業などをめざす方は、いずれか一つの資格だけでなく、複数の資格を組み合わせることで取得することをおすすめします。より具体的な強みとして活かすことができる組み合わせで、計画的に取得しましょう。取得プランに迷った際は、進路支援センター(資格支援窓口)へお気軽にご相談ください。

おすすめ学習スケジュール 大経大の資格講座では関連性の高い資格を計画的に複数取得できるようにカリキュラムを設定しています。



国内・総合ともに試験は年1回です。

国内に合格してから総合の学習をはじめようすると最低でも2年間の学習期間が必要になるため効率的な学習が可能な【国内・総合W受験コース】を受講しましょう。